

協働事業の 企画・提案段階に 大事だと思うこと

課題発見・
アイデア
ひらめき

政策課題
を知る

行政側の問題意識も知りたい

行政の政策課題の
情報提供

行政側の政策との
マッチング

市民ニーズ
に適合？

行政がキャッチしている市民ニーズ

やりたいことが社会的なニーズに適合？

企画書作成・協働事業化検討

企画づくり
と共有化

企画書記入例。わかりやすい言葉で

WS 手法の紹介。仲間同士で企画をふくらめる方法

コンセプトの説明ができるか

コンセプトの共有・明確化

企画書の書き方はどのようにしたらよいか。採用されやすいか

お金を
どうするか

行政側の予算と見通し

準備のための資金が集められるか(継続資金)

予算をどのように積み上げたらよい

お金“いくらなければできない”ということではなかったら...どういう扱いになるのか

団体の体力

客観的に自分たちの(協働にふさわしい)力を測れる基準

団体の種別と規模

過去の提案が協働まで発展した事例(集)を広く公開し、NPOに情報を流す

人材がいるか

場所の選定の見通し

団体間の
連携方法

既存の団体との連携

この課題を解決する相手は？

課題を解決する仲間を見つけたい

団体間の連携窓口

役所(職員)は庁舎で待つだけでなく出向くことはできないか。目線(腰)の低さが流れを呼び込む

提案方法の検討 提案準備

どの段階で提案していいの？

この課題は協働となる？

仲間と固めてからでは引けないのでは？

とりあえず提案でいい？賛同者、協力者はやってみてからの不確定要素

企画の初めの段階での協働

書類化の前にアドバイスを通じて進める。功罪

企画書作成たいへんです。作成段階から職員との協働が始まるという事業もあるのでは？

敷居の高い相談窓口をつくる

自分達の活動がどの所管になるか相談先一覧

役所窓口の敷居が高い。アイデアを持つ

どの窓口に行ったら相談したいの？

事業の提案

簡単な手続き

手続き(簡単な)。

必要書類

先のことを考えてとりくむ

協定書を作る

仕様の内容を確認する

出発してからの(提出書類)報告書類

静岡市市民活動促進協議会
第3回 H21.12.21
Bグループ 石上委員、
大島委員、木村委員、
近藤委員、和田委員